

ウォッチャー報告

2011年12月分

2012. 1. 19.

一般社団法人 福島原発行動隊
Skilled Veterans Corps for Fukushima

- ◇ 1～3号炉すべて、炉底温度100℃以下
- ◇ 燃料プール20℃台で安定
- ◇ 4号機燃料プール塩分除去を再開

※炉内状況不明、再臨界の可能性など変化なし

- ◇滞留水は累計189,610t(月間28,030t)処理。
再利用は80,534t
- ◇地下水への流出は防止されていると想定
- ◇処理水受けタンク容量を135,200tに増強

※滞留水全体量は、地下水の流入により毎月数万トン
ずつ増加しており、「滞留水全体量の減少」というステ
ップ2の目標は未達

※漏水事故が相次いで発生。全長約4kmにわたる樹脂
製ホース配管に問題

- ◇ 港内の海底土が160万Bq/kgの汚染
- ◇ 除染モデル実証事業は廃棄物の仮置き場問題で難航
- ◇ 政府提案の「中間貯蔵施設」に双葉郡が反発

※政府は中間貯蔵施設については検討するも、仮置き場および発生源からの搬送は各自治体まかせ

◇作業員数：前月までのウォッチャー報告に誤りあり

	9月	10月	11月
作業員数/日	3,094 人	3,030 人	3,067 人
延作業員数	7,003 人	6,562 人	6,022 人

◇内部被曝測定未完は、約18,000人中100人余

※平成21年度 放管手帳保有者	：	75,988 人
20mSv超被曝者	：	7 人
※福島第一原発の3～11月従事者	：	18,846 人
20mSv超被曝者	：	3,312 人

- ◇12月16日、ステップ2終了。「事故の収束」宣言
- ◇12月21日、「中長期ロードマップ」発表

※建屋内観察ロボット、建屋内除染方法、格納容器破損状況確認・修理方法、燃料デブリ状況確認・取出し方法等、膨大な開発項目がある。

※開発計画の作成から取り掛かる必要があり、今後の見通しは不鮮明